

# 目 次

序	6 農業分野における情報研究・情報利用……	22
発刊のことば	第2節 組織・機構……	24
グラビア	1 センター設立以前……	24
	2 農林水産総合技術センター設立の経緯……	24
	3 農林水産総合技術センター設立……	25
<b>第1編 沿革</b>	第3節 本所・分場・試験地の概要と主な設備…	28
<b>第1章 徳島県農業試験場前史</b>	1 農業研究所の土地と建物……	28
はじめに……	2 施設整備……	30
第1節 藩政時代の日本の農業指導……	3 本所の変遷と概要……	33
1 日本の実業教育……	4 病害虫担当・病害虫防除所（鴨島分場）…	36
2 日本の農書……	5 中山間担当（池田分場）……	38
3 陰陽五行説と西洋農学……	6 県南暖地担当……	38
4 初めて西洋文明に觸れて……	第4節 運営組織……	40
5 海外留学生の許可と「欧米回覧」……	1 会議および広報……	40
第2節 明治の農政……	2 委員会……	40
1 明治初期の農政……	第5節 行事および催物……	41
2 松方デフレと農業政策の大転換……	1 地域交流フォーラム……	41
第3節 農業試験場の設立……	2 各種研修……	42
1 農科大学の誕生……	3 記念碑等……	43
2 「稲作問答」事件の発生……	4 一般公開……	43
第4節 国立農事試験場……	5 百周年記念事業……	43
第5節 農事試験場徳島支場……	第6節 教育機関・併設機関……	45
1 支場の概要……	1 徳島県農業大学校農業分校……	45
2 何故徳島に支場が来たか……	2 併設機関……	45
3 徳島支場の業績……		
4 両技師の転任……		
5 四国支場の最後……		
<b>第2章 創立から80周年まで</b>	<b>第2編 試験研究の歩みと成果</b>	
第1節 明治時代……	<b>第1章 稲作に関する研究</b>	
1 設立の動機……	第1節 研究の変遷……	49
2 組織・機構・施設（諸規程など）……	1 創設から80周年まで……	49
第2節 大正時代……	2 80周年以降……	50
第3節 昭和時代（戦前）……	第2節 研究業績……	52
第4節 昭和時代（戦後）……	1 品種に関する試験……	52
	2 栽培法に関する試験……	55
	3 原種・原原種の生産……	62
<b>第3章 80周年以降</b>	<b>第2章 麦作に関する研究</b>	
第1節 農業事情……	第1節 研究の変遷……	63
1 経済情勢と農業生産の変化……	1 創設から80周年まで……	63
2 環境問題と持続型農業への転換……	2 80周年以降……	63
3 省力・軽作業化のための機械化の進展……	第2節 研究業績……	64
4 中山間地域の現状と技術開発……	1 品種に関する試験……	64
5 バイオテクノロジー研究の進展……	2 栽培法に関する試験……	67

3 原種・原原種の生産……………	69	「手入れ砂」量の低減化……………	121
<b>第3章 特用作物および飼料作物に関する研究</b>		4 土壌維持管理指針の作成……………	122
第1節 研究の変遷……………	70	5 その他……………	123
1 創設から80周年まで……………	70	<b>第4節 土壌調査事業……………</b>	123
2 80周年以降……………	72	1 地力保全対策事業……………	123
<b>第2節 研究業績……………</b>	73	2 国土調査……………	125
1 藍……………	73	3 環境保全機能向上土壌、施肥管理技術の 確立事業……………	125
2 大豆……………	73	4 その他の各種調査……………	125
3 ステビア……………	75		
4 飼料作物……………	76	<b>第7章 病害虫に関する研究</b>	
<b>第4章 野菜に関する研究</b>		第1節 研究の変遷……………	126
第1節 研究の変遷……………	77	1 創設から80周年まで……………	126
1 創設から80周年まで……………	77	2 80周年以降……………	126
2 80周年以降……………	78	<b>第2節 研究業績……………</b>	129
<b>第2節 研究業績……………</b>	80	1 病害……………	129
1 果菜類……………	80	2 虫害……………	134
2 根菜類……………	84		
3 葉茎菜類……………	87	<b>第8章 農業公害・農薬残留対策・農薬分析等に 関する研究</b>	
4 イモ類……………	92	第1節 農薬残留対策と農薬の分析等に関する 研究の変遷……………	142
<b>第5章 花きに関する研究</b>		1 創設から80周年まで……………	142
第1節 研究の変遷……………	94	2 80周年以降……………	142
1 創設から80周年まで……………	94	<b>第2節 農薬残留対策と農薬の分析等に関する 研究業績……………</b>	145
2 80周年以降……………	95	1 オモトのアザミウマ防除土壌処理剤に 関する試験……………	145
<b>第2節 研究業績……………</b>	98	2 施設イチゴにおける農薬の残留性に 関する試験……………	145
1 一・二年草花（切花）……………	98	3 スダチ、ユズの農薬残留に関する試験……………	145
2 宿根草花（切花）……………	99	4 新規農薬施用法に関する試験……………	145
3 球根草花（切花）……………	102	5 ハス葉（レンコン）薬剤防除に 関する試験……………	147
4 洋ラン……………	104	6 クロルピクリン飛散軽減技術に 関する試験……………	147
5 花木・枝物……………	107	7 その他の農薬残留に関する試験……………	149
6 育種……………	107	<b>第3節 農業公害に関する研究の変遷……………</b>	150
<b>第6章 土壌・肥料に関する研究</b>		1 創設から80周年まで……………	150
第1節 研究の変遷……………	110	2 80周年以降……………	151
1 創設から80周年まで……………	110	<b>第4節 農業公害に関する研究業績……………</b>	152
2 80周年以降……………	112	1 土壌汚染に関する調査……………	152
<b>第2節 研究業績……………</b>	113	2 農薬散布に伴う周辺環境への被害および 影響調査……………	152
1 水稲……………	113	3 その他……………	152
2 麦……………	114		
3 野菜……………	115	<b>第9章 農業経営に関する研究</b>	
4 飼料作物・特用作物……………	117	第1節 研究の変遷……………	154
5 農林畜産廃棄物利用……………	118		
<b>第3節 砂地畑土壌に関する研究……………</b>	119		
1 砂地畑土壌の実態把握……………	120		
2 手入れ砂代替素材の選定と開発……………	120		
3 土壌改良および施肥改善による			

1	創設から80周年まで	154	6	農業研究情報システム化事業	195
2	80周年以降	155	7	農業・農村の情報化推進事業	197
第2節	研究業績	156	8	地域基幹研究における気象関係の研究	198
1	地域農業複合化推進に関する研究	156	9	GISによる農業センサスデータ表示	
2	養液栽培に関する研究	157		システムの開発	198
3	露地野菜等土地利用型農業に関する研究	160			
4	有機農業に関する研究	162			
5	中山間農業に関する研究	165			
6	農産物流通に関する研究	169			
<b>第10章 農業機械に関する研究</b>					
第1節	研究の変遷	175			
1	明治時代	175			
2	大正時代	175			
3	昭和時代（戦前）	175			
4	昭和時代（戦後）	176			
5	80周年以降	179			
第2節	研究業績	179			
1	サツマイモの機械化	180			
2	レンコンの機械化	182			
3	ニンジンの機械化	183			
4	大規模圃場整備田における野菜機械化 一貫体系の確立	183			
<b>第11章 バイオテクノロジーに関する研究</b>					
第1節	研究の変遷	184			
1	創設から80周年まで	184			
2	80周年以降	184			
第2節	研究業績	185			
1	作物関係	185			
2	野菜関係	185			
3	山菜関係	187			
4	花き関係	189			
<b>第12章 情報・コンピュータ利用に関する研究</b>					
第1節	研究の変遷	191			
1	情報企画科の設置とグリーンピア計画	191			
2	情報化の推進	191			
3	その他	192			
第2節	研究業績	192			
1	グリーンピア計画における農業情報 システムの検討	192			
2	本場の気象観測機器の管理と気象情報の 提供	193			
3	ビデオによる映像情報の蓄積・編集と 広報への活用	193			
4	図書・資料のデータベース化と広報	195			
5	農業研究情報システム化モデル事業	195			
<b>第13章 池田分場・中山間担当における研究</b>					
第1節	研究の変遷	199			
1	創設から80周年まで	199			
2	80周年以降	199			
第2節	研究業績	200			
1	中山間野菜	200			
2	花	202			
3	山菜	202			
4	茶	204			
5	雑穀	206			
<b>第14章 海南分場・県南暖地担当海南園芸にお ける研究</b>					
第1節	研究の変遷	207			
1	創設から80周年まで	207			
2	80周年以降	207			
第2節	研究業績	209			
1	野菜類の研究業績	209			
2	花き類の研究業績	210			
<b>第15章 阿南筍試験地・県南暖地担当阿南園芸にお ける研究</b>					
第1節	研究の変遷	212			
1	創設から80周年まで	212			
2	80周年以降	213			
第2節	研究業績	213			
1	栽培改善に関する研究	213			
2	作業技術に関する試験	215			
3	生態に関する試験	215			
4	生育障害対策試験	216			
5	流通利用技術に関する試験	216			
6	タケノコの新栽培体系の開発	216			
7	その他の試験	217			
<b>第16章 鴨島分場における研究（蚕糸研究）</b>					
第1節	沿革	218			
第2節	研究業績	218			
1	桑品種改良指定試験事業 （農水省委託試験）	218			
2	桑新品種の比較試験	218			
3	桑園の地域資源としての有効利用技術	218			
4	繭試験研究調査事業	218			

5	未利用養蚕資源による高付加価値化 製品の作出技術	219
6	絹特産糸加工利用による高付加価値化 製品の作出技術	219
7	特徴ある蚕品種の育成と保存	219
8	昆虫の培養細胞による天敵ウィルスを 利用した生物的防除技術の開発	220

## 第17章 その他の分場・試験地の研究

第1節	生比奈柑橘試験地における研究の変遷	221
第2節	富岡分場における研究の変遷	221
第3節	大山果樹試験地における研究の変遷	222
第4節	阿波原種農場における業績	222
第5節	板東園芸試験地における業績	223
第6節	藍住分場における研究の変遷	223

## 第3編 資料

### 第1章 試験研究項目一覧

1	作物科・育種科・栽培育種担当（作物）	227
2	野菜科・栽培育種担当（野菜）	228
3	花き科・栽培育種担当（花き）	229
4	農芸化学科・生産環境担当（土壌肥料）	233
5	病虫科・病害虫担当・病害虫防除所	235
6	環境科・生産環境担当（環境保全・農薬）	237
7	経営科・企画経営担当（企画経営）	238
8	農業機械科	238
9	育種科(平成3～12年)・栽培育種担当(育種)	239
10	情報企画科・企画経営担当(情報システム)	240
11	プロジェクト担当	240
12	池田分場・中山間担当	240
13	海南分場・県南暖地担当（海南園芸）	244
14	阿南筍試験地・県南暖地担当（阿南園芸）	245
15	鴨島分場	246

### 第2章 研究業績一覧

1	作物科・栽培育種担当（作物）	247
2	野菜科・プロジェクト担当（作業システム）・ 栽培育種担当（野菜）	247
3	花き科・栽培育種担当（花き）	248
4	農芸化学科・プロジェクト担当（砂地畑）・ 生産環境担当（土壌肥料）	249
5	病虫科・病害虫担当	250
6	環境科・生産環境担当（環境保全・農薬）	251
7	経営科・情報企画科・企画経営担当	251
8	育種科・栽培育種担当（育種）	252
9	池田分場・中山間担当	252
10	海南分場・阿南筍試験地・県南暖地担当	253

11	鴨島分場	253
12	種苗法に基づく品種登録	253
13	特許出願	253
14	実用新案	253

### 第3章 刊行物一覧

### 第4章 表彰

### 第5章 組織・人事・予算

1	組織の変遷図	258
2	職員配置の推移	261
3	職員数の推移	264
4	決算額の推移	264
5	歴代場長	264
6	現職員名簿	265

### 第6章 年表

## 第4編 思い出

野菜と共に50年	阿部泰典	279
農試池田分場の思い出	川人 浩	280
26/100年の思い出	酒井勇夫	281
農業試験研究100年に想う	坂尾治雄	282
農試35年の思い出	佐竹治男	283
想いで	住友昭利	284
現場で学ぶ	谷 幸泰	285
偉大なる思い出に残る先人たち	鳥羽 清	286
分場での思い出「タバコと共に」	長居勝美	287
私の事件簿	永井洋三	289
害虫と共に過ごした30年余を顧みて	野口義弘	290
農業試験場の想いで	林甚太郎	291
研究評価制度スタートのころ	福居幸治	292
甘しょ「かいよう病」究明の顛末	福西 務	293
産地密着型技術開発あれこれ	町田治幸	295
八十年史編纂の思い出	山本 勉	296
試験場100周年によせて	山本英記	297

### 編集委員名簿

### 執筆者一覧

### 編集後記